

平成29年度入試【推薦入試Ⅰ】

小論文

(総合理工学部 建築・生産設計工学科)

注意

- 1 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。
- 2 問題紙 3ページ、解答用紙 2枚（下書き用紙 2枚）である。
指示があつてから確認し、解答用紙・下書き用紙 の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は、すべて解答用紙の所定のところに記入すること。
- 4 解答用紙・下書き用紙 は持ち帰ってはいけない。
- 5 問題紙 は持ち帰ること。

建築・生産設計工学科 小論文問題

【問題 1】

松江城は 2015 年 7 月に天守（図 1）が国宝に指定され、2014 年には 37 万人であった松江城の入込客が 2015 年には 49 万人となり、大幅な入込客の増加がみられた。2014 年 3 月の「重要文化財 松江城天守保存活用計画」では、想定される最大級の地震に対して天守の 5 階及び 3 階で耐震性能を若干下回る結果となったことが示されている。日本では地震が多発しているが、現在でも天守の耐震補強工事は行われていない。天守が耐震補強工事を行っていない理由について、あなたの考えを 600 字以内で論述しなさい。

【問題 2】

2020 年の東京オリンピック開催に向けて、既存の国立競技場を解体し「新国立競技場」を新設することとなった。コンペによって当選した ザハ・ハディド氏による設計案（図 2）はデザインやコストの面から問題が指摘され、計画を白紙撤回してやり直すこととなった。改めて公募型プロポーザルが実施され、最終的には隈研吾氏による設計案（図 3）が採用された。

以上の経過を踏まえて、

- (1) ザハ・ハディド氏 及び 隈研吾氏の設計案について、あなたの視点から評価を加えて、優劣を決定しなさい。（300 字程度）
- (2) 新国立競技場を含めて、オリンピックにおける建築・都市計画のあり方について、あなたの考えを述べなさい。（300 字程度）

■参考資料

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

図1 松江城天守

(重要文化財松江城天守保存活用計画より)

■参考資料

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

図2 ザハ・ハディド氏による設計案

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

図3 腹研吾氏らによる設計案

(日本スポーツ振興センター 資料より)